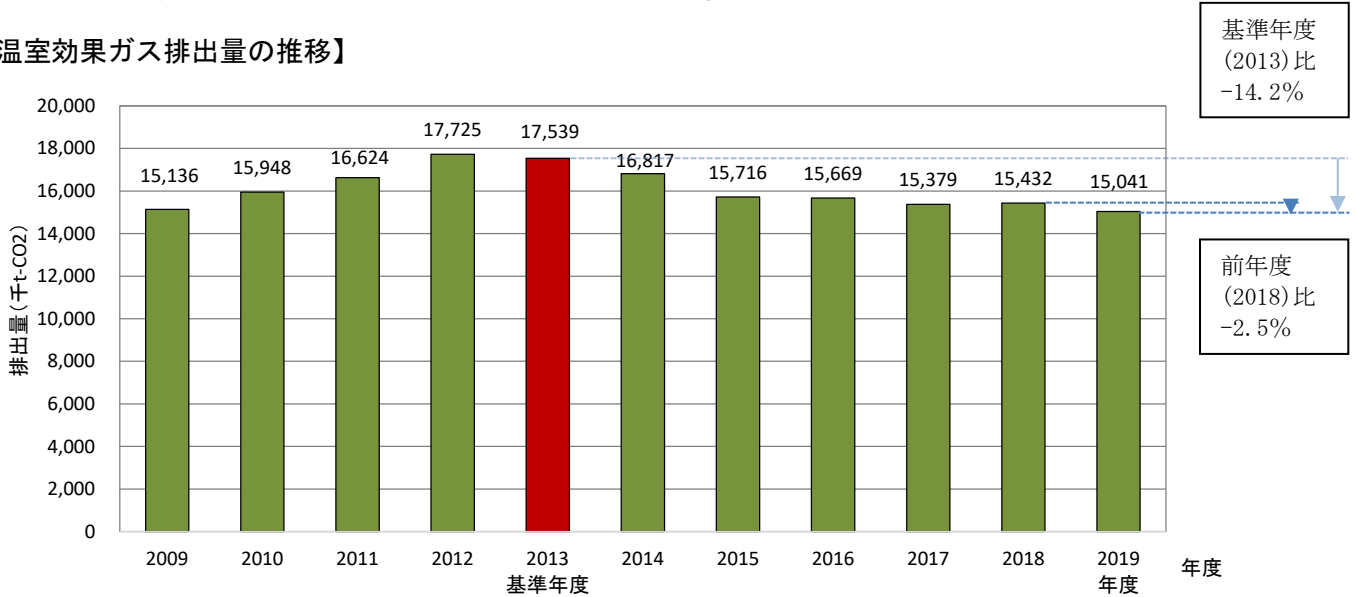


青森県における2019年度(令和元年度)の温室効果ガス排出状況について

1 温室効果ガス排出量

- 県内の排出量：15,041 千t-CO₂(全国の1.2%)
- 青森県地球温暖化対策推進計画の基準年度比(2013年度(平成25年度)比)：14.2%減少
※同計画の目標値：2030年度までに2013年度比で31%削減
- 前年度比(2018年度(平成30年度)比)：2.5%減少
前年度と比べて排出量が減少しているのは、主に産業部門及び業務その他部門における電力消費量が減少したことによるものである。

【温室効果ガス排出量の推移】



2 温室効果ガス排出量のうちの二酸化炭素排出量(部門別)

部門	排出量(千t-CO ₂)	構成比	基準年度(2013)比	前年度(2018)比
産業部門	4,635	34.4%	-10.1%	-3.2%
業務その他部門	1,819	13.5%	-28.9%	-7.4%
家庭部門	3,127	23.2%	-14.7%	-0.3%
運輸部門	2,765	20.5%	-21.7%	-0.7%
その他	1,122	8.3%	1.7%	-7.2%
合計	13,468	100.0%	-15.9%	-3.0%

※端数処理の関係で、合計が一致しない場合がある。

○基準年度(2013年度)からの減少理由として推測される主な要因

- ・産業部門：製造業のエネルギー効率の向上による電力消費量の減少
- ・業務その他部門：省エネ型の電化製品及び建築物の普及による電力消費量の減少
- ・家庭部門：省エネ型の家電製品及び住宅の普及による電力消費量の減少
- ・運輸部門：乗用車の燃費向上

本報告書における温室効果ガス排出量については、推計に用いる各種統計データの変更・修正を受けた過年度データの再計算により、前回まで公表している資料の数値と一致しない場合があります。